



<CAM ベトナム・リサーチ・レポート>

情報提供用資料

2019年12月12日

アジア開銀 2019 年の成長率見通し

ベトナムのみ上方修正

アジア開発銀行（ADB）は2019年版「アジア経済見通し」の修正版で、19年の東南アジアのGDP成長率が+4.4%になるとした。輸出低迷や投資の減少などを背景に、主要6カ国の予測値を0.1ポイント引き下げた。タイは3.0%から2.6%に下方修正した。消費や投資の減少、貿易の低迷が理由。インドネシア、フィリピンは、従来予想を維持した。

海外直接投資の増加などが期待されるベトナムは6.9%と、0.1ポイント引き上げた。

20年については、東南アジア全体で+4.7%とし、前回の予測値を据え置き。タイは0.2ポイント下方修正したが、ベトナムを0.1ポイント引き上げた。

国・地域		18年*	19年		20年	
			前回	改定値	前回	改定値
東アジア	香港	3.0%	0.3%	-1.2%	1.5%	0.3%
	中国	6.6%	6.2%	6.1%	6.0%	5.8%
	韓国	2.7%	2.1%	2.0%	2.4%	2.3%
	台湾	2.6%	2.2%	2.2%	2.0%	2.0%
	全体	6.0%	5.5%	5.4%	5.4%	5.2%
南アジア	インド	6.8%	6.5%	5.1%	7.2%	6.5%
	全体	6.6%	6.2%	5.1%	6.7%	6.1%
東南アジア	インドネシア	5.2%	5.1%	5.1%	5.2%	5.2%
	マレーシア	4.7%	4.5%	4.5%	4.7%	4.7%
	フィリピン	6.2%	6.0%	6.0%	6.2%	6.2%
	シンガポール	3.1%	0.7%	0.6%	1.4%	1.2%
	タイ	4.1%	3.0%	2.6%	3.2%	3.0%
	ベトナム	7.1%	6.8%	6.9%	6.7%	6.8%
	全体	5.0%	4.5%	4.4%	4.7%	4.7%
アジア全体		5.9%	5.4%	5.2%	5.5%	5.2%

アジア（日本など一部先進国を除く）全体の19年と20年の成長率は+5.2%と予測。9月の予測値からそれぞれ0.2ポイント、0.3ポイント下方修正した。

米中貿易摩擦が地域全体の経済見通しで最大のリスクとなっていると指摘されている。

* = 実績

アジア全体は45か国

出所：ADBのデータを基にキャピタルアセットマネジメントで作成

以上